

宮内大臣副署

[Empty grid area for text]

日本帝國及比律賓群島間郵便為替  
交換約定締結ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セ  
ラレムコトヲ請フ

大正九年七月十四日

内閣總理大臣原敬



日本帝國及比律賓群島間郵便為替交  
換約定

日本帝國遞信省及比律賓群島郵務局ハ  
兩國間ニ郵便為替ヲ交換スルコトヲ希  
望シ下ニ署名スル者ハ之カ為各相當ノ  
權限ヲ與ヘラレ左ノ諸條款ヲ協定シタ  
リ

第一條 振出

日本帝國ヨリ比律賓群島ニ又比律賓群

島ヨリ日本帝國ニ郵便為替ニ依リ送金  
ヲ為スコトヲ得

第二條 通貨最高額裏書讓渡

一郵便為替ノ金額ハ雙方トモ亞米利加  
合衆國ノ通貨ヲ以テ之ヲ表示スヘシ  
各締約郵政廳ハ其ノ振出ス為替ニ適  
用スヘキ換算割合ヲ隨時定ムルノ權  
能ヲ有ス其ノ割合ハ他方ノ郵政廳ニ  
通知スヘキモノトス  
尤モ受取人ニ對スル為替拂渡ニ付テ

ハ合衆國通貨一弗ハ日本貨幣二圓又  
ハ比律賓通貨二ペソニ均シキモノト  
看做スヘキコトヲ協定ス但シ日本郵  
政廳ハ該割合カ自廳ノ利益ニ損害ヲ  
及ホスヘキトキハ比律賓群島振出為  
替ノ拂渡ニ別異ノ割合ヲ適用スルコ  
トヲ得其ノ割合ハ比律賓郵政廳ニ通  
知スヘキモノトス

二郵便為替一口ノ最高額ハ合衆國通貨  
一百弗トス但シ兩郵政廳ノ協議ニ依

リ之ヲ増昂スルコトヲ得  
為替金額ニハ一仙未滿ノ端數ヲ附ス  
ルコトヲ得ス

三各郵政廳ハ他方ノ疆域ヨリ發スル為  
替ノ權利ヲ其ノ疆域内ニ於テ裏書ニ  
依リ讓渡スコトヲ許可スル權利ヲ留  
保ス

### 第三條 料金歩合金

一 為替料ハ振出國ニ於テ之ヲ定メ本約  
定ニ依ル各送金額ニ付差出人ヨリ之

ヲ徴收ス

二 各郵政廳ハ本條ノ規定ニ依リ定ムル  
為替料金率ヲ他方ノ郵政廳ニ通知ス  
ヘシ爾後之ヲ變更シタルトキ亦同シ

三 本約定ニ依リ振出シタル郵便為替ノ  
拂渡ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ如何  
ナル名義ニ依ルモ其ノ拂渡ニ關シ何  
等ノ料金又ハ公課ヲ徴收セラルルコ  
トナシ

四 振出郵政廳ハ拂渡郵政廳ニ對シ拂渡

為替總金額ノ四百分ノ一ノ歩合金ヲ  
支拂フヘシ

第四條 責任請求ナキ為替

一 郵便為替ノ金額ハ受取人又ハ其ノ代  
理人ニ正當ニ拂渡ヲ了スル迄差出人  
ニ對シ之ヲ保障ス

二 尤モ為替ノ誤拂ヲ理由トスル請求ハ  
當該為替ノ通常有効期間滿了ノ日ヨ  
リ一年内ニ限り之ヲ受理ス此ノ期間  
滿了後ニ於テハ誤拂ニ對スル郵政廳

ノ責任ハ消滅ス

三 權利ナキ者ニ為替ノ拂渡ヲ為シタル  
場合ニ於テ誤拂ヲ為シタル郵政廳ハ  
左ノ事項ヲ證明スルトキハ之ニ對ス  
ル責任ヲ免ルルモノトス

第一 拂渡郵政廳ノ規則ニ受取人ノ  
本人タルコトヲ確認スルニ足ル規  
定アルコト

第二 前號ノ規則所定ノ條件ニ依リ  
拂渡ヲ為シタルコト

四郵便為替ニ對スル受入金額ニシテ振  
出國ノ法令ヲ以テ定メタル期間滿了  
前ニ權利者ヨリ請求ナキモノハ振出  
郵政廳ニ確實ニ歸屬ス但シ振出郵政  
廳ハ此ノ期間滿了前ニ差出人ニ該金  
額ノ拂戻ヲ為スニ必要ナル措置ヲ執  
ルヘシ

### 第五條 内國規則

兩國間ノ郵便為替ハ振出ニ關シテハ振  
出國ノ現行規則ニ又拂渡ニ關シテハ拂

渡國ノ現行規則ニ依ルヘシ

### 第六條 計算差額

一 締約郵政廳間ニ交換シタル為替ノ總  
計算書ハ日本郵政廳ニ於テ之ヲ作成  
スヘシ總計算書ヲ作成スヘキ時期其  
ノ他ノ條件ハ第八條第二項ニ依ル細  
則ヲ以テ之ヲ定ム  
二 計算書ノ差額ハ常ニ紐育宛一覽拂為  
替手形ヲ以テ合衆國通貨ニテ之ヲ支  
拂フヘシ

第七條 業務ノ停止

各郵政廳ハ兩國間ノ郵便為替業務ヲ停止スルヲ至當ナリトスル非常ノ場合ニ於テハ一時其ノ全部又ハ一部ヲ停止スルコトヲ得停止ヲ為シタルトキハ直ニ之ヲ他方ノ郵便廳ニ通知スルモノトス必要ト認ムルトキハ電信ニ依ルヘシ

第八條 郵便為替取扱局細則

一 兩郵政廳ハ各自本約定ノ規定ニ依ル為替ノ振出及拂渡ヲ取扱フヘキ郵便

局ヲ指定スヘシ

二 兩郵政廳ハ協議ノ上為替券式紙為替ノ送達方法計算書式紙其ノ他總テ本約定ノ施行ヲ確實ニスル為必要ナル細則ヲ規定スヘシ

第九條 約定ノ有効期間

本約定ハ兩郵政廳ノ協議ヲ以テ定ムル日ヨリ之ヲ施行シ締約者ノ一方力之ヲ廢止セムトスル旨ヲ他方ニ通告シタル時ヨリ仍一年間其ノ效力ヲ持續スヘシ

此ノ最終一年間ハ約定ハ引續キ完全ニ  
施行セラレ該期間滿了後ト雖計算ノ整  
理及決濟ヲ為スコトヲ妨ケス  
大正 年 月 日日本東京ニ於テ  
及千九百 年 月 日比律賓群  
島「マニラ」ニ於テ二通ヲ作成シ之ニ署  
名ス

日本帝國遞信大臣

比律賓群島政府郵務局長官

宮内省第六十八號

宮中席次令中改正ノ件樞密顧問ニ  
諮詢可被為在旨  
御沙汰候條及御回付候也

大正九年七月二十一日

宮内大臣男爵中村雄次郎



樞密院議長公爵山縣有朋殿

